

か ど ひいらぎ 香 童 の 校

No. 13

壬生町立稲葉小学校 学校便り

平成29年9月20日

文責：校長 廣田 昌英

始業式

元気な顔が学校に戻ってきました。みんな大きな声であいさつしてくれて、とても気持ちが良くなりました。私からは、「おはようございます」だけでなく、「行ってきます」、「ただいま」、そして感謝の気持ちを込めた「ありがとう」、これらのあいさつがしっかりできる子になりましょう、と話をしました。

一人きりでの自給自足の生活は不可能です。だから、みんなで仲良く楽しい生活を送るための第一歩、あいさつは大切です。保護者の皆さん、地域の皆さん、是非、子ども達にお手本を見せてあげてください。家庭と地域と学校が手を組んだら、きっともったいい子に育ちますよ。

運動会

本校の運動会、いかがでしたか？児童数が少ない分、上級生、特に6年生全員にはかなりの負担がかかります。しかし、競技にも係活動にも全力で立派に取り組んでくれました。だから大成功だったと私は思っています。

そして、その陰には前日までのしっかりとした練習や事前準備があったことを忘れてはいけません。体育主任の高山先生や担任の田中先生の指導の下、6年生は運動会を成功させるために前日までの準備を怠りませんでした。とてもいい経験ができたと思います。

先の目標に向かって何をすべきかよく考え、そして今頑張る、この姿勢をいつまでも忘れて欲しくないですね。

3本柱前集合！

本校の特色である縦割り班活動の一つに、にこにこ集会というものがあります。班ごとに遊びの企画をするのです。だいたい前日に集合場所が各班ごとに伝達されるようです。7月の話ですが、ある班の集合

場所は国旗掲揚塔に決まりました。その情報は上級生同士で「国旗掲揚塔前！」という単語で伝達されていきました。それが1年生に伝えられるときには一瞬にして「3本柱の所に集まってね！」と、ちゃんと翻訳されているんです。偉いぞ、上級生！縦割り班活動の意味を十分に感じた一瞬でした。

私もほめてよ！

各クラスの帰りの会では、1日を振り返り、友だちの良い行いをクラス全員の前で発表する時間があるようです。素敵ですね。ある日、3年生の教室をのぞくと、ちょうどその「ほめほめタイム」でした。ある女の子が「掃除の時間にお腹が痛くて休んでいたら、〇〇さんが大丈夫？って声をかけてくれました。とてもうれしかったです。」と発表していました。クラスが温かい雰囲気になりますよね。

でも.....私も同じ言葉をかけてあげただけだなあ.....。

旦那様が実験台？

小麦粉が食べられない子がいます。しかし、ある日の給食の献立には天ぷらがありました。そして献立通りに天ぷらが出されました。私が荒井栄養士に「あの子は食べられないね。」と言うと、「いえ、大丈夫です。小麦粉でなく、米粉を使ってるんです。」え？米粉の天ぷら？食べてみるとモチリとした食感でおいしいんです。「よく考えましたね」と言う、「家で何度も試作を作ってみました。でないと調理員に指示できませんから」。

すべての食物アレルギーに対応した給食を毎日提供することは不可能です。でも、時々、ホントに時々でいいから荒井さん、またお願いしますね。

本校で作った給食を食べられる児童（我々教職員も）は幸せもんです。